



箕面市生涯学習指針

2025-2028



2025年(令和7年)4月

箕面市教育委員会

1 箕面市がめざす生涯学習社会について

一般に生涯学習社会とは、『人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち学校教育や家庭教育、社会教育として広く行われる文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動など、様々な学びの場や機会を通して成長を図り、人生を豊かにすることができる社会』の意味で用いられます。

箕面市では、社会教育法第3条に基づく市の責務として移りゆく時代に合った新たな課題への対応が必要となることから、『知ろう・愛そう・作ろう』をキーワードに、生涯学習社会を推進します。それにより、市民が箕面市に愛着を持ち、生涯学習で得た知識や経験を、地域の課題解決と将来のまちづくりに生かす社会をめざします。

「子どもは大人の背中を見て育ちます。では、大人は誰の姿を見て育つのでしょうか？」

学びは子どもだけではなく大人にも必要です。この視点に立ち、幼児期から高齢期まで障害の有無などに関わらず、すべての市民に、いつでも、どこでも、自由に学びたいことを学べるよう、生涯学習・社会教育の機会が提供される社会をめざします。

2 箕面市生涯学習指針について

生涯学習指針を設けることで、市民の声をしっかりと受けとめながら、市民のニーズに応じた学びの機会等を提供することができます。これにより、個人の成長を支援するだけでなく、社会全体の進歩や平等の実現に向けた基盤を築くことができ、長期的に重要な役割を果たします。

箕面市教育委員会では、過去に策定された箕面市生涯学習推進基本計画を引き続き継承し、生涯学習分野については、「知りたい、学びたい」「深めたい、活かしたい」「つながりたい、広げたい、協働したい」「支援・推進してほしい」の4つの観点でニーズを分類し、各ニーズに対応する生涯学習施策を展開しています。



【郷土資料館】



【中央図書館】

1 知りたい、学びたい

①豊富な学び、②ニーズの把握・反映、③学習情報の提供

⇒アンケートなどを通じて個別のニーズを把握し、学習機会を提供します。

さらに学習情報を幅広く周知することで、市民が豊富な学びに触れる機会を充実させます。

- 箕面市の歴史、文化・芸術、自然などの講座を開催し、実際に資料等に触れることのできる体験学習の実施など、多様な学びの機会を増やし、箕面を愛するきっかけを作り、郷土愛を育みます。
- SNS等を使ったイベント周知のほか、文化財を見やすい看板で案内するなど情報発信を行っています。
- 文化財を後世に繋ぎ、大切に残すべく保護に努めます。また、収蔵品を教育現場や高齢者施設へ貸し出すなど、文化財の更なる活用をめざします。
- リニューアルオープンした郷土資料館を拠点に、収蔵品の魅力ある展示やイベント開催などを実施することで、市民の郷土愛を深める一助となる機会を設け、観光資源としても活用します。
- すべての市民がスポーツに親しみ、楽しめるように、スポーツイベントを開催し、運動の機会を充実させ、運動習慣の定着と体力向上をめざします。また、スポーツを通じて世代間の交流促進も図ります。
- 箕面シニア塾受講後に行うフォローアップ調査の結果をもとに、受講後の学びや活動の継続に結びつく傾向を分析し、定員や講座内容の見直しを行います。
- シニア塾や生涯学習講座に参加できるよう、障害者の生涯学習機会の充実と新たな居場所づくりを支援する合理的配慮を行います。
- 誰もが本など活字文化を楽しめるよう、電子書籍やオーディオブックサービスの提供を始め、市独自の読者情報誌「声と点字の読書情報」による情報提供、対面朗読の実施や音訳図書等の貸出を進めていきます。

2 深めたい、活かしたい

①体系的学習の提供、②学習成果を生かす、③学校連携・学校支援

⇒市民団体や学校、その他関係機関などとの連携により、専門的学習機会の提供や地域人材の更なる活用をはかります。また、学習成果を発表する場の提供や市民ボランティア育成後の活動の場のマッチングを行います。

- 生涯学習講座などの受講者が学習成果を活用できるよう、既存の団体の紹介を行うことで、活動を継続する機会の提供に努めます。
- 箕面の子どもたちへブコの演奏など芸術文化に触れる機会を提供し、豊かな感性や創造力、思考力等を育みます。
- 箕面の子どもたちが、様々な視点で学びを進められるよう子ども向け講座などを実施していきます。
- 学校で学んだ知識を更に深めるため、郷土資料館での学びのイベントを開催します。
- 大阪大学など包括連携協定を締結する各大学の特徴や強みを活用した生涯学習講座などを開催するほか、市内高校などとも連携し、文化・芸術・国際交流に係る取り組みを進めます。
- 市立図書館と学校図書館の司書が連携し、情報共有をはかることにより、児童・生徒の成長過程とニーズに応じた読書情報を提供します。また、大学との連携を通じて、児童・生徒の学びを深める機会や資料の提供に努めます。

3 つながりたい、広げたい、協働したい

①つながり・交流を広げる、②学びの共有を広げる

⇒若い世代の取り込みや新たな活動団体の参加を促進し、持続するつながりを確保します。市民団体のネットワークの拡大により社会的課題の解決に取り組みます。

- 庁内で所管する事業間相互の情報共有をはかり、自治会活動やPTA活動などで行う社会教育の場を通じて、市民が地域交流のあるまちづくりに積極的に携われるよう情報を分かち合い市民ニーズを活かした生涯学習事業を進めます。
- 市民やNPO、地域で活動する団体と協働して講座を行うことで、ネットワークを広げ、持続可能な市民活動を促進します。
- 世代を超え、生涯にわたってスポーツに親しめるよう、生涯スポーツ、文化スポーツ、競技スポーツでの交流を推進します。
- 講師や指導者の養成を通じ、子どもから大人まで学習の場の継続と質の向上を図ります。
- 同世代間交流のきっかけを作り、親子で参加できる生涯学習講座を継続して実施し、子育て世代の孤立感を解消します。

4 支援・推進してほしい

①学びを支援する、②学習の場の確保、③推進体制の強化

⇒団体が活動する上で抱える課題の解決など支援を行います。ニーズに合わせた時間・会場の選定や設備整備、施設改修などを行います。

- すべての市民がいつでも・どこでも・自由に、学びたいことを学べるよう、開催講座を検討し様々な時間帯や曜日での講座の開催やオンライン講座の実施などをめざします。また、高齢者などを対象としたスマートフォンの使い方講座を実施するなど、情報技術活用のスキルアップ支援を並行して実施します。
- 普段アートに触れる機会の少ない市民にも広くアートを提供できるように市内公共施設において積極的にアート作品を展示するなど、より多くの人々にアートを提供する仕組みづくりをめざします。
- 市立図書館と学校図書館が連携し、児童・生徒の学びを図書の提供により支援します。
- 市内各図書館及び各生涯学習センター等の利用状況を分析し、今後も市民にとって利便性の高い施設となるよう努めます。
- 子どもや保護者が本とふれ合いながら過ごせる図書館での居場所づくりを進めます。
- 市民温水プールを整備し、学校水泳授業の民間委託の受け皿となりつつ、市民の健康増進に寄与できる施設運営をめざします。



【箕面市民展】



【箕面スケートボードパーク】